

善兵衛ランド

☎072-447-2020

スポーツ

申込先：総合体育館 ☎072-433-7120

10月の星空



動画はこちら

かってきました。そして1923年、アメリカの天文学者ハッブルが、アンドロメダ星雲までの距離を求める星を発見し、アンドロメダ星雲は、私たちの銀河系(天の川銀河という星の集まり)の外にあることがわかりました。現在では、距離は250万光年(といっても銀河の中では一番近い)、1兆個の星の集まった銀河であることがわかり、アンドロメダ銀河とよばれるようになりまし。そして、宇宙にはこのような銀河が2兆個ほどあることがわかっています。

★天文イベント

星占いと黄道12星座展：11月1日(月)～21日(日) [ID22912]

★月の観察

10月14日～16日・21日・22日が適しています。

★惑星の観察

金星が、午後1時頃から観察できます。夜間は、木星・土星・海王星が観察できます。

★10・11月の休館日

水曜(11月3日を除く)、11月4日(木)・5日(金)・25日(木) ※10月29日、11月30日は集会室と多目的室のみ利用できます。



南東の空高くに、秋(ペガサス)の四辺形が見えます。空飛ぶ天馬ペガサスの胴体を表していますが、4つの星のうち左上の2等星アルフェラツは、アンドロメダ座に属し、王女アンドロメダの頭になっています。

アンドロメダの左足先にある2等星アルマクは、肉眼では1つの星に見えますが、望遠鏡で見ると、2つの星が寄り添って見える二重星です。青とオレンジの色の対比がとても美しいといわれています。

アンドロメダ座を暗い空で見ると、右足の付け根のあたりに、月6個分ほどのボヤとしたものが見え、昔から雲のようだというこ。ことで、アンドロメダ星雲と呼ばれていました。

19世紀に入って、それは、ガスでできた星雲とはちがい、うずまき状の星の集まりであることがわ

貝塚市イメージキャラクター つげさん



つげさんのマスキングテープ

9パターンのつげさんがフィルム風にデザインされた可愛いマスキングテープです！

サイズ 幅15ミリ×5メートル

素材 和紙

定価 350円(税込)

販売 まちの駅かいつか、イオン貝塚店、広報交流課

問合せ先 広報交流課 ☎072-433-7231

すてきなイラスト ありがとうございます！



milk.さんの作品

トレーニング器具講習会

Table with 2 columns: Time (午前10時～正午, 午後6時30分～8時30分) and Date (10月31日(日), 10月15日(金), 11月28日(日), 11月19日(金), 12月26日(日), 12月17日(金)).

受講者にはトレーニング室使用許可証を発行し、以後1回300円で使用できます。講習会当日には写真(たて2.5号×よこ2号)を持参してください。

▶場所 総合体育館▶対象 中学卒以上[当面の間は市内に在住・在勤(学)に限る]のかた▶定員 各10人(定員になり次第締切)▶申込講習会前日までに総合体育館へ(電話可)

市民わくわくウォーク

クイズやゲームに挑戦しながら、二色の浜公園内約3km(2時間)を楽しくウォーキングします。

詳しくは、ホームページの募集要項をご覧ください。

▶日時 11月23日(火)午前9時～(雨天中止)▶対象 市内在住・在勤(学)で小学生以上のかた(小学3年生以下は保護者同伴)▶定員 50人(多数の場合は抽選)▶参加費 無料(賞品あり)▶申込 住所・氏名・電話番号・参加人数(4人まで)をEメールまたはファックスで▶締切 11月4日(木)▶問合せ先 スポーツ振興課☎072-433-7121、Fax072-432-7122、Eメールsports@city.kaizuka.lg.jp

市民太極拳大会

▶日時 11月7日(日)午前10時▶場所 総合体育館▶対象 市内在住・在勤(学)と連盟登録のかた▶参加費 個人競技1,000円、団体競技(8人以内)2,000円▶締切 10月20日(水)午後5時▶問合せ先 太極拳連盟(宮地)☎090-6664-4100(体育館に要項あり)

第53回大阪府サウンドテーブルテニス大会

次のかたが優秀な成績をおさめました。(敬称略)

【女子アイマスクなしの部】

準優勝 堂野慶子(橋本)

問合せ先 障害福祉課☎072-433-7012

12月からスポーツ施設予約システム運用開始

スポーツ施設予約システム(以下システム)により、パソコンやスマートフォンからインターネットで、施設の空き状況の確認や施設利用の仮予約をすることができます。次の手続きの上ご利用ください。

- ①事前登録：利用者の基本情報の登録。(利用者登録は初回のみ)
②利用者登録の完了：総合体育館で本人確認後、利用者IDを発行。
③パスワード設定：システム上で利用者のパスワードを設定。
④仮予約：ID・パスワードでシステムにログインし、利用したい施設の仮予約をする。
⑤本予約：総合体育館で利用施設の本予約、利用料金の支払いなどを行う。

※詳しくは、ホームページをご覧ください。このシステムの導入により、予約方法が新制度へ移行します。

▶対象施設 総合体育館、青少年運動広場、ふれあい運動広場、公園墓地テニスコート、二色グラウンド、二色野球グラウンド、ドローン・クリケットフィールド▶システム運用開始(事前登録含む) 12月1日(水)午前9時▶①②の先行手続 11月中旬から総合体育館窓口で(要本人確認書類)▶問合せ先 スポーツ振興課☎072-433-7121、総合体育館☎072-433-7120

問合せ先 学校教育課 ☎072-433-7113

八月六日、夏休みの登校日は、いつもより早く登校します。一年生から六年生まで「広島平和記念式典」に合わせ黙祷を行い、小学生の「平和への誓い」を聞きませす。黙祷の時間は元気がいい子も子どもたちの声は消え、セミの声だけが響き渡っています。
木島小学校では「戦争の悲惨さ」「恐ろしさ」を知り「平和や命の尊さ」を感じ、これからの自分の生き方について考えられる子どもに育ってほしいという願いから、平和学習を進めています。登校日までに、本や映像を使い学習します。低学年では、空襲で猛獣の檻が壊され、人を襲うかもしれないという理由で、全国の動物園で猛獣が処分されることになったことや、原子爆弾によつて傷ついた女の子が、最後まで水を求めて苦しみが亡くなった話など、戦時中の日本の様子について学習します。高学年では、教科書を使い、戦時中の暮らしだけでなく、自分たちと同じ小学生がどのような生活を送っていたのか、歴史と重ねながら学習します。運動場が畑として使われていたことや、授業で敵を倒すための訓練が行われていたことを知り、子どもたちからは「学校でも勉強より戦争の方が大事にされていたなんて、そんな学校生活はつらいと思う」という意見がたくさん出ました。そうした事前の学習を積み重ねてむかえる平和登校日には、戦争の悲惨さとともに「命の尊さ」についてじっくりと考えます。戦争で奪われた命、生き延びた命、今この瞬間も奪われそうになっている命、自分の命について各学年の成長に合わせ学習します。子どもたちからは「戦争は繰り返したくないから、なぜ戦争が起こったのかきちんと調べたい」「自分は今、毎日幸せだと感じるけれど、世界には毎日つらく怖い思いをしている子がいて、その子を助けられるのは自分なんだと思つた」「昔は敵だった国とも仲良くできている今の日本を守りたい」「繋いでくれた自分の命をもっと大切にしたい」という感想が出てきました。
秋には、6年生が修学旅行で広島に行きます。その時は、全校児童が平和への祈りを書いた紙で作った折り鶴を持っていき、祈りを捧げます。そのあと、原爆の子の像のモデルである佐々木禎子さんの同級生からお話を聞かせていただきます。被爆されたかたから話を聞ける最後の世代の子どもたちには「戦争は命や暮らし、人間性をも奪ってしまうというこを心に刻み、平和な世界にするために、自分たちには何ができるのか」を考えられるようになってほしいと思います。

自分たちの生き方を考える
八月六日、夏休みの登校日は、いつもより早く登校します。一年生から六年生まで「広島平和記念式典」に合わせ黙祷を行い、小学生の「平和への誓い」を聞きませす。黙祷の時間は元気がいい子も子どもたちの声は消え、セミの声だけが響き渡っています。
木島小学校では「戦争の悲惨さ」「恐ろしさ」を知り「平和や命の尊さ」を感じ、これからの自分の生き方について考えられる子どもに育ってほしいという願いから、平和学習を進めています。登校日までに、本や映像を使い学習します。低学年では、空襲で猛獣の檻が壊され、人を襲うかもしれないという理由で、全国の動物園で猛獣が処分されることになったことや、原子爆弾によつて傷ついた女の子が、最後まで水を求めて苦しみが亡くなった話など、戦時中の日本の様子について学習します。高学年では、教科書を使い、戦時中の暮らしだけでなく、自分たちと同じ小学生がどのような生活を送っていたのか、歴史と重ねながら学習します。運動場が畑として使われていたことや、授業で敵を倒すための訓練が行われていたことを知り、子どもたちからは「学校でも勉強より戦争の方が大事にされていたなんて、そんな学校生活はつらいと思う」という意見がたくさん出ました。そうした事前の学習を積み重ねてむかえる平和登校日には、戦争の悲惨さとともに「命の尊さ」についてじっくりと考えます。戦争で奪われた命、生き延びた命、今この瞬間も奪われそうになっている命、自分の命について各学年の成長に合わせ学習します。子どもたちからは「戦争は繰り返したくないから、なぜ戦争が起こったのかきちんと調べたい」「自分は今、毎日幸せだと感じるけれど、世界には毎日つらく怖い思いをしている子がいて、その子を助けられるのは自分なんだと思つた」「昔は敵だった国とも仲良くできている今の日本を守りたい」「繋いでくれた自分の命をもっと大切にしたい」という感想が出てきました。
秋には、6年生が修学旅行で広島に行きます。その時は、全校児童が平和への祈りを書いた紙で作った折り鶴を持っていき、祈りを捧げます。そのあと、原爆の子の像のモデルである佐々木禎子さんの同級生からお話を聞かせていただきます。被爆されたかたから話を聞ける最後の世代の子どもたちには「戦争は命や暮らし、人間性をも奪ってしまうというこを心に刻み、平和な世界にするために、自分たちには何ができるのか」を考えられるようになってほしいと思います。

